

2018年度 ルール変更 対照表

競技名：テニス

変更前	変更後	備考
3.1.1 アスリートは、テニス評価フォームに基づいた評価によってディビジョニングされる。	3.1.1 アスリートは ITN 査定フォームのレイティングと最終スコアに基づきディビジョニングされる。	
3.1.2 各アスリートのテニス評価フォームは、競技会登録書類一式と共に提出しなければならない。	3.1.2 各アスリートの ITN 査定フォームは、競技会登録書類一式と共に提出しなければならない。	
3.1.3 テニス評価フォームは、テニス用公式スペシャルオリンピックススポーツルールの 5.に記載されている。	3.1.3 ITN 査定フォームは、スペシャルオリンピックスのテニス競技公式スポーツルールのセクション 5 で提供されている。	
3.2.1.2 評価点が 3.0 未満のアスリートには推奨されない。	3.2.1.2 ITN が 10 未満のアスリートには推奨されない。	
3.2.1.3 評価点が 6.0 未満のアスリートには推奨されない。	3.2.1.3 ITN が 6.0 未満のアスリートには推奨されない。	
3.10.1 ユニファイドスポーツ® ダブルスの各ペアは、SO(または ITN)レイティングで定義された同じ程度のスキルを持つ知的障害のあるプレイヤー 1 名と、知的障害のないプレイヤー 1 名より成る。	3.10.1 ユニファイドスポーツ®ダブルスの各ペアは、ITN の最終ナンバーで定義された同じ程度のスキルを持つ知的障害のある選手 1 名と、知的障害のない選手 1 名から成る。	
3.11.2 ユニファイドスポーツ®チーム構成：ユニファイドテニスチームは、ユニファイドダブルスチームで構成される。ユニファイドダブルスチームは、知的障害のある人と評価得点と年齢が近い知的障害のない人のペアで構成されたダブルスから成っている。	3.11.2 ユニファイドスポーツ®チーム構成：ユニファイドテニスチームは、ユニファイドダブルスチームで構成される。ユニファイドダブルスチームは、知的障害のあるアスリート 1 名と、知的障害がなくレイティングのスコアが同じ程度のスキルを持つ年齢が近いアスリート 1 名から成る。	

<p>3.11.3 個人の評価—全てのプレイヤーはスペシャルオリンピックスのテニス評価システムによって 8 段階に評価される。アスリートとパートナーはできるだけ能力が近い必要があり、全く同じ評価(A 選手も B 選手も評価は 4)、あるいは評価の差が 1~1.5 以下 (A 選手の評価は 4 で、B 選手の評価は 5)でなければならない。</p>	<p>3.11.3 個人のレイティング—すべてのテニス選手は ITN 査定フォームで格付けする。ユニファイドダブルスチームを結成する際、アスリートとユニファイドパートナーは可能な限り能力面で同等でなければならない。どちらの選手も全く同じ ITN の最終ナンバーを保有 (選手 A と選手 B が ITN 8 を保有) する必要があるか、ITN ナンバーの最も高いレベルで競技する (選手 A は ITN 9 レベル 3 で選手 B が ITN 8 レベル 4 の場合、チームは ITN 8 レベル 4 で競技する)。</p>	
<p>3.11.8 競技会では指定されたテニスボールと指定されたコートサイズを使用する:ダブルスチームの評価によって、どのテニスボールを使わなければならないかと、同様にコートサイズが決まる。</p>	<p>3.11.8 競技会における指定テニスボールの使用およびコートサイズの決定:ダブルスチームの保有する ITN の最終スコアと ITN の最終ナンバーによって、競技会で使用すべきテニスボールの種類、およびコートサイズが決まる。</p>	
<p>3.11.8.1 ユニファイド レベル 5: ダブルスチームの合計評価点数が 10 点以上の場合、黄色ボールと 78 フィートコートを使う。</p>	<p>3.11.8.1 ユニファイドスポーツ®チーム レベル 5: ITN 9 のダブルスチームは、78 フィート (23.77m) コートで標準的なイエローのテニスボールを用いなければならない。</p>	
<p>3.11.8.2 ユニファイド レベル 4: ダブルスチームの合計評価点数が 6.0-9.9 の場合、25%低反発ボール (黄色地に緑の水玉模様がついたボール) と 78 フィートコートを使う。</p>	<p>3.11.8.2 ユニファイドスポーツ®チーム レベル 4: ITN 8、7、6、またはさらに高いレベルのダブルスチームは、78 フィート (23.77m) コートで 25%低反発グリーンボール (緑の丸が描かれたイエローボール) を用いなければならない。</p>	
<p>3.11.8.3 ユニファイド レベル 2: ダブルスチームの合計評価点数が 3.0-5.9 の場合、赤色ボールと 42 フィートコートを使う。</p>	<p>3.11.8.3 ユニファイドスポーツ®チーム レベル 2: ITN 10 のダブルスチームは、42 フィート (12.8m) コート (サービスボックスのみ) でレッドボールを用いる。</p>	

3.12.2 レベル 1 のボールは赤色スポンジボールを使用する	3.12.2 レベル 1 のボールはレッドボールとする。	
4.レベル (レベル 1) 個人技能競技 42 フィートコート テニス評価 1.0-1.9 赤色のスポンジボール ITN 10.3-10.2	4.レベル (レベル 1) 個人技能競技 ITN 10.3~10.2 42 フィート (12.8m) コート-レッドボール	
4.レベル (レベル 2) マッチプレー 42 フィートコート テニス評価 2.0-2.9 赤色のボール ITN 10.1	4.レベル (レベル 2) マッチプレー： ITN 10.1 42 フィート (12.8m) コート-レッドボール	
4.レベル (レベル 3) マッチプレー 60 フィートコート テニス評価 3.0-3.9 オレンジ色のボール ITN 10	4.レベル (レベル 3) マッチプレー： ITN 10 60 フィート (18.29m) コート-オレンジボール	
4.レベル (レベル 4) マッチプレー 78 フィートコート テニス評価 3.0-4.9 緑色のボール(黄色地に緑色の水玉模様が付いたボール) ITN 9	4.レベル (レベル 4) マッチプレー： ITN 9 78 フィート (23.77m) コート-グリーンボール (緑の丸が描かれたイエローボール)	
4.レベル (レベル 5) マッチプレー 78 フィートコート テニス評価 5.0-8.0 黄色のボール ITN 8,7,6	4.レベル (レベル 5) マッチプレー： ITN 9 78 フィート (23.77m) コート-グリーンボール (緑の丸が描かれたイエローボール)	
	4.レベル (レベル 6) マッチプレー： ITN 6、578 フィート (23.77m) コート-イエローボール	4. (レベル 6) は新規
4.2 注意: レベル 3 はトレーニングを目的とした移行のためのレベルとして設けられている。このレベルで十分にプレーすることができる参加者がいる場合に (のみ) 使用することができる。	4.2 ダブルスの試合では、両方の選手が同じレベルのレイティングでなければならない。レベルが異なる場合、チームは最もレベルの高い選手のレベルで競技をしなければならない (例: レベル 4 とレベル 5 の選手がペアの場合、レベル 5 指	

	定の 78 フィートコートとイエローボールで競技する)。シングルのレイティングの組み合わせは、高いレベルでチームのディビジョニングをするために用いられる。	
4.3 上記のスペシャルオリンピックステニス評価はシングルに対してのものであり、アスリートがダブルスでプレーする場合には、評価の範囲がこの 2 倍の数字となる。例：ダブルスの場合のレベル 4 は 6.0-9.9 となる。		変更前 4.3 は削除
5. スペシャルオリンピックステニス評価シート	5.ITN 査定 査定手順（次頁参照） (P9-21 が対象：以下サブタイトルのみ抜粋) <ul style="list-style-type: none"> ・ スペシャルオリンピックス ITN 査定 ・ ITN レベル 5 と同等の高い技量 ・ （緑の丸が描かれたボールを用いる以外、レベル 4 も同様） ・ レベル 2 ・ レベル 3 ・ レベル 4 およびレベル 5 ・ 機敏さ 	変更前 5.は削除 変更後 5.は新規
	6.ITN 査定シートの作成（次頁参照） (P22-27 が対象：以下サブタイトルのみ抜粋) <ul style="list-style-type: none"> ・ インターナショナル・テニス・ナンバーコート上の査定 ・ インターナショナル・テニス・ナンバーコート上の査定（10.1 用） ・ インターナショナル・テニス・ナンバーコート上の査定（10.2 用） ・ インターナショナル・テニス・ナンバーコート上の査定（10.3 用） 	変更後 6.は新規